

3. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<食物栄養学科> (認定課程：中学校二種免(家庭))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	教職に関する科目として「教職の意義と職務」、「教育原理」、「教育心理学」、「生徒指導論」、「介護等体験」を設定している。これらの講義、実習を通して、教員をめざす学生が、学校教育や教員の仕事について基本的な事柄を広範な視野で学ぶとともに、その後の教職課程での学びの全体像をつかみ、展望を持って進んでいけることを目標としている。
	後期	教職に関する科目として「教育経営論」、「道徳教育指導論」、「特別活動指導論」、「家庭科教育法」を設定している。また、2年次学修の教育実習における、事前指導を前倒し、45分×15回実施後、2月下旬には、1週間の観察実習を中心とする教育実習Ⅰを実施している。これらの学修を通して、教職に対する具体をつかみ、2年次へつなげるべく目標を設定している。
2年次	前期	教職に関する科目として「教育方法論」、「中学校教育実習」を設定している。夏休み期間中に行われる教育実習Ⅱに向けて、家庭科の授業づくりをする上で是非とも必要な指導方法や指導技術を理解、習得するとともに、指導案作成、模擬授業を行っている。また、実習に先立ち、近隣中学校での師範授業、学生による研究授業を実施する等、教育実習に向けての具体的技術を身に付けることを目標としている。
	後期	教職に関する科目として「教職実践演習(中学校・家庭)」、「教育相談」、「進路指導論」を設定している。教育実習を終えたのち、課題を明らかにし、「家庭科教育の専門性」と「教職に関する専門性」を身に付け、生徒が意欲をもって取り組む授業ができることを目標としている。また、「学びの軌跡の集大成」として、自分にとって何が課題であるか自己評価をし、必要に応じて不足している知識や技能を補い、その定着を図ることも目標としている。

※ 認定を受けている課程ごとに記載してください。